

普及活動情勢報告（令和4年11月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

ハウス内環境データを活用した収量向上 ～促成シシトウ農家での取組支援～



環境データを確認する農家とJA職員、普及指導員

11月1～16日、IoTクラウド協力農家でもある須崎市の促成シシトウ農家で、環境制御機器の設定を支援しました。

当課はJA担当者と協力し、農家と10月中旬～11月上旬のハウス内の環境データを確認しながら、天窗の開閉や加温器を、統合環境制御機器を活用して細かく設定しました。農家からは、「ハウス内環境を維持しようとして、設定を難しく考え過ぎていた」といった反応がありました。

当課は、今後もJAと協力し、環境・生育データを活用したIoT機器の設定について検討し、厳寒期の収量向上につなげていきます。

牛ふん堆肥の有効活用について ～津野山地域営農連絡協議会・畜産PT～



現地視察する畜産PTメンバー

10月18日、梶原町で津野山地域営農連絡協議会・畜産PTを開催し、津野町、梶原町、JA高知県、西部家畜保健衛生所、当課の職員9人が参加しました。

当日は、牛ふん堆肥について、製造施設と敷き材としての利用を視察し、有効活用について意見交換を行いました。

当課からはJAと協議中の「令和5年作における園芸・その他品目の堆肥利用推進」「国県の肥料価格高騰対策事業」について情報提供しました。

参加者からは、堆肥の販売実績や農家への推進用チラシなどについて質問があり、活気ある会議となりました。

今後、当課はJAとより詳細に牛ふん堆肥の有効活用について協議し、農家に牛ふん堆肥の利用推進を行っていきます。

今年もたくさん収穫しましょう！ ～津野山ユズ部会目慣らし会～



事業説明をする普及指導員

10月19日、JA高知県津野山営農経済センター会議室で津野山ユズ部会が目慣らし会を開催し、100人近い生産者が出席しました。

JAは、出荷可能な果実について、実際に果実を見せながら収穫する際の注意点等を説明しました。当課は、今年度策定した津野山地域ユズ産地構造改革計画と果樹経営支援対策事業の説明、農作業安全の啓発及び収穫作業受委託の紹介を行いました。

当課は、今後もJAと協力して、高齢化によるユズ園の荒廃化を防ぐための労働力確保などについて検討し、ユズ産地の維持に取り組んでいきます。

ミニトマト選果作業の効率化に向けて ～大豊町のカイゼン取組農家を視察～



選果機について情報交換する農家ら

10月26日、カイゼンに取り組む中土佐町のミニトマト農家1人と当課職員2人が、令和2年度に選果作業のカイゼンに取り組んだ大豊町のミニトマト農家を訪問し、選果作業の効率化の阻害要因である裂果の発生状況や対策について視察しました。

現地では、裂果の発生割合や時期、選果体制や時間、選果機の仕様等に加え、品種や仕立て方等の栽培管理に関することなどを聞き取ることができ、有益な情報交換になりました。

今後も、農家が情報収集する機会を設けながら、作業効率の向上に向けた取組を支援していきます。

津野山地域での新規就農者の確保を目指して ～第2回新規就農相談会～



面談する関係機関職員ら

10月26日、JA高知県津野山営農経済センター会議室で、津野町、梶原町、JA、当課の職員が参加して、津野山地域営農連絡協議会による新規就農相談会を開催し、2件の相談がありました。

相談者から相談内容を聞き取り、当課は、独立自営就農に向けた制度や支援策の紹介、今後の個別面談等について提案しました。

相談者からは「就農に向けて分からない事が多いので、今後いろいろな教えてもらいたい」といった要望がありました。

当課は引き続き、津野山地域での新規就農者の確保を目指して、関係機関と協力して相談活動を進めていきます。

IoP を活用してミョウガ出荷量の更なる増加を目指そう ～JA ミョウガ部会決算総会～



IoP クラウド SAWACHI の説明をする普及指導員（右奥）

10月31日、JA土佐くろしお大間出荷場会議室でミョウガ部会が令和4園芸年度の決算総会を開催し、部会員47人が出席しました。

JAから、「令和4園芸年度は販売単価が前年比96%であったものの、出荷量は過去最高の3,659tとなり、販売額は過去最高であった前年と比較して100%とほぼ同等となった」ことが報告されました。

当課からは、IoPクラウドSAWACHIの紹介及び加入促進を行いました。これまでも目慣らし会や個別巡回でSAWACHIの加入を進めており、10月末時点で46人が加入しています。

当課は今後も、SAWACHIをはじめデータ駆動型農業の実践によるミョウガ出荷量の更なる増加を目指し、関係機関と協力して営農支援を行っていきます。

将来の農業の担い手確保に！ ～栲原高校出前授業（ユズ編）～



ユズについて説明する普及指導員

11月17日、津野山地域営農連絡協議会は、ユズ生産者の協力により、栲原高校農業コースの2・3年生13人を対象に、ユズについての出前授業を開催しました。

当課は、津野山地域でのユズ栽培の歴史や栽培の特徴などについて講義しました。

次に、ほ場に移動して収穫作業を体験し、最後に収穫したユズを用いてジュースを作り試飲しました。

生徒からは、「ユズについて詳しく知ることができた」「ユズジュースが美味しかった」といった声があり、ユズ及び農業に関心を持ってもらう機会となりました。

当課は、今年度新たな取り組みとして、茶、土佐甘とう、米ナス、ユズについて出前授業を企画立案し、実施しました。今後も将来の農業の担い手確保に向けた活動を進めていきます。